

POWER FILE★1143

お世話パーソナリティと紡ぐ、忘れられない旅の思い出。



長崎でもお世話になります！森谷・對馬と行く！

世界文化遺産「軍艦島」と春浪漫「グラバー園」を巡るツアー

パーソナリティと出かける、魅力いっぱいの長崎。

お昼の情報バラエティ「森谷威夫のお世話になります！！」(月～木／10時～13時55分)が、またまたリスナーツアーを企画。4月22日(土)・23日(日)に、「長崎でもお世話になります！森谷・對馬と行く！世界文化遺産『軍艦島』と春浪漫『グラバー園』をめぐるツアー」に繰り出しました。

長崎といえば、歴史ロマンと異国情緒にあふれる街。今回は、日本近代産業の遺構である軍艦島をはじめ、この街に花開いた異国文化を体感できるグラバー園など見どころをおさえながら、長崎の味覚や温泉も堪能するちょっと贅沢なツアーとなりました。

番組パーソナリティの森谷威夫・對馬京子が同行するこの旅に、28名のリスナーが参加。パーソナリティとリスナーがともに過ごした充実の2日間をレポートします。

坂の街・長崎をのんびり散策。夜は交流パーティで盛り上がる。

朝10時30分頃、伊丹空港から旅立った一行はお昼前に長崎空港に到着しました。空港近くのホテルで昼食を済ませ、さっそく長崎市内観光へゴー！まずは、戦争と平和の意味を世界に問い続ける長崎平和公園を訪ねました。改めて平和に祈りを捧げる参加者たち。続いて出島を観光した後、坂本竜馬の像が建つ風頭公園から亀山社中へ。眼鏡橋へも立ち寄りました。

約1時間半におよんだ街歩き。長崎はとにかく坂が多い街で、急勾配の小路や階段があちこちに点在しています。そのため、自転車を利用する人はほとんどおらず、原付バイクが主流なのだとか。他地域では4ケタのバイクのナンバーが、台数の多さのため長崎は5ケタ。街の様子や人々の暮らしぶりも肌で感じながらの散策となりました。長い下り道では、最高齢の81歳をはじめご年配の参加者の体調や怪我が心配されましたが、何のその。みなさん元気いっぱい、道中は森谷らとの会話や買い物も楽しみながら、長崎の街を満喫しました。

夜、宿泊ホテルでは温泉を堪能。夕食時にはパーティを開催しました。雲仙ポークなど地元食材を用いたオリジナ



ル会席料理に舌鼓。森谷・對馬を中心に、一人参加の方々もリスナー同士で交流を深めあうなごやかなパーティとなりました。さらに、沖縄旅行など豪華賞品が当たる抽選会も実施。当選者が発表されるたびに歓声のため息が入り混じり、盛りあがりのなかで長崎の夜ははふけていきました。

世界遺産・軍艦島を観光。ご当地の味覚も堪能して。

翌日はツアーのメインイベント、軍艦島へ繰り出しました。世界文化遺産に登録される軍艦島。島の外観が軍艦に似ていることからこう呼ばれるようになりました。明治から昭和にかけて海底炭鉱によって栄え、日本初の鉄筋コンクリートの集合住宅も建設。昭和49年に閉山となって以来、風雨と潮にさらされ続けて朽ち果てている無人



島です。

抜けるような青空の下、ぽっかりと海に浮かぶ軍艦島は鮮烈な印象。船上からの見学だけでなく、上陸して島の一部も観光しました。ガイドさんの解説にじっと聞き入りながら、かつてこの島で繰り広げられた人々の営みに想いを馳せました。

再び長崎市内に戻り、長崎ちゃんぽん・皿うどん発祥のお店、四海楼でランチ。本格派の味わいに大満足した後、大浦天主堂やグラバー園を見学しました。貿易の街として、海外の文化や思想がいち早く流入した長崎。それゆえに幕末には革新的な思想を持つ者たちもやってきました。グラバー園内には追われる身である志士をかくまうための隠し部屋が存在し、幕末の騒乱を偲ぶ時間にもなりました。長崎の食や観光をぎりぎりまで欲張って、一行は夕方に伊丹空港へ帰ってきました。

ツアーの様子は、翌週の番組内で報告。参加リスナーから寄せられたメッセージも紹介し、みなさんに道中の楽しいエピソードや長崎の魅力をお伝えしました。今回はご一緒できなかった方々にも、次の旅では出逢えますように。お世話では、これからもツアーをはじめさまざまな番組イベントを企画していきます。どうぞお楽しみに！

